



ボランティア通信 2024.7 Vol. 257

# なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会  
 (交野市ボランティアセンター内)  
 V連絡会 E-mail katano.vltr94@gmail.com  
 Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com



ボランティアを  
 紹介してほしい人  
 ボランティア活動を  
 はじめたい人  
 ボランティアセンターに  
 お問い合わせください  
 (Tel 072-894-3737)  
 (Fax 072-891-3340)

## 交野市ボランティアグループ連絡会発足 30 周年記念式典開催

令和6年5月18日 / 交野市保健福祉総合センター



開会のあいさつを述べる馬場会長

30周年記念式典は、馬場会長の「社会はボランティアを求めている。それに応える活動を続けることの意義を今一度振り返り、日常の活動を息長く続けよう」とのあいさつで始まり、続いてご来賓の祝辞をいただきました。

交野市長 山本景氏  
 交野市社会福祉協議会 会長 前波艶子氏  
 大阪府社会福祉協議会 地域福祉部部长 難波志保氏  
 大阪府市町村ボランティア連絡会 会長 錢廣幸壮氏  
 その他、大阪府市町村ボランティア連絡会役員・事務局職員の方々にご来場いただきました。

- 功労者(歴代会長経験者4人) 花束贈呈
- 永年活動者(38人) 感謝状贈呈
- ボランティア全員に 記念品贈呈
- 花束贈呈 写真左から
- 栗原 清美子さん (ほほえみ・糸ぐるま)
- 川下 武士さん (虹の会)
- 菊田 広子さん (あい)
- 梶 記代美さん (さつき・星の会)



山本交野市長のあいさつと来賓のみなさん



花束を手に歴代会長のみなさん



感謝状贈呈 佃静枝さん (ふれんズ・さつき)



記念品贈呈 湯浅陽子さん (虹の会)

## 式典開催に向けて みんなで楽しくできました

第1回実行委員会を令和4年12月に開催以降、令和6年5月まで11回の実行委員会での検討を重ね、実行委員それぞれが役割を分担して準備を進めて来ました。



実行委員会 (令和6年5月) の模様



役割分担ごとに打合せ



来賓等の胸花は、介護衣料「糸ぐるま」の手作りです



看板に文字を清書中の増田かほるさん (あい)



司会のリハーサル 「あい」のお二人 軽尾則江さん (右)・東昭子さん



記念品の包装作業中



来賓のお出迎え 京阪河内森駅で



舞台でのリハーサル



来場者名簿の確認



看板の取り付けをする実行委員・リーダー

後編 後記 編集集

本号は交野市ボランティアグループ連絡会発足30周年記念特別号として編集しています。この式典を契機に連絡会活動が新たな発展に向けて始動することを期待するとともに、ボランティアひとり一人の関わりが大きな鍵を握っているとの認識のもと、連絡会活動への積極的な参加をお願いいたします。

なかま次号発行予定 令和6年10月7日(月)

本名は田久朋寛さん。千葉県出身、京都を拠点に活動。ジャグリング歴は25年。



### 第2部

## たつきゅうさん パフォーマンズと講演

第2部は、大道芸人「たつきゅうさん」のパフォーマンス(ジャグリング等)と講演(健康と生きがいづくり)に役立つ笑いの力を楽しました。講演では、健康と生きがいづくりを基本に、笑いの要素を取り入れることが大切だと、そしてフレイルに落ちないために、運動・栄養・交流を意識した生活を送るよう心がけようと呼びかけられた。その中でも教養(今日する用がある)と教育(今日行く場所がある)の話がとても印象的でした。

## 式典アラカルト

参加者の声  
「Aさん」

これまで知らなかった交野のボランティアグループの歴史の一端を知ることができて大変良かったです。



各務課長

参加者の声  
「Bさん」

馬場会長の「みんなで楽しみましょう」の言葉通り、大いに楽しませていただきました。

### 閉会のあいさつ

菊田実行委員長



第2部の最後は、手話グループ「とき」のメンバーの指導で手話歌「ひとりの手」を参加者全員が手話を交えながら歌い、ボランティア活動の発展を誓いあいました。



## みんなで手話歌「ひとりの手」

## シンポジウムでは...



シンポジウムは「私たちの歩みをふりかえって—これまでのボランティア、これからのボランティア」をテーマに開催しました。パネリストは写真左から歴代会長の栗原さん、川下さん、菊田さん、梶さん、現会長の馬場さんら5人。ファシリテーターは社会福祉協議会課長の各務さん。交野市のボランティア誕生(1977年)から連絡会組織に移行後(1994年)30年の活動を振り返って、主たる活動の展開と課題、環境変化への取り組みなどが報告されました。またコロナ禍以降の歩みや、これからのボランティア活動について意見が交わされました。

## ボランティア活動紹介 10グループの動画を上映

この動画は、1年にわたり摂南大学の現代社会学部学生6人によって作成されました。各グループの活動がコンパクトに編集され、素晴らしい出来映えです。



### 交野市ボランティアグループ連絡会の歩み～30年を振り返って②

- 1992(平成4)年6月 市役所別館から保健福祉総合センター4階に移転
- 1994(平成6)年3月 交野市立ボランティアセンター 開所  
→ ボランティア活動の拠点ができる。  
4月 「交野市ボランティアグループ連絡会」に改称  
15グループが所属
- 1995(平成7)年1月 阪神淡路大震災発生 → ボランティア元年
- 1996(平成8)年4月 コーディネーター就任
- 1997(平成9)年4月 かのしボランティアセンター 開所

### 交野市ボランティアグループ連絡会の歩み～30年を振り返って④

- 1991(平成3)年 11月 機関紙「なまか」創刊号発行 16号発行
- 1996(平成8)年 4月 「グループだより(ボランティア機関紙)」38号発行
- 1997(平成9)年 7月 「ボランティア通信でくく」17号発行
- 2000(平成12)年 4月 「グループだより」と「ボランティア通信でくく」をリニューアル
- ボランティア通信「なまか」を発行
- 2020年3月まで毎月発行 通巻239号、4月から季刊発行(年4回)
- 2013(平成25)年4月 交野市社会福祉協議会HPに「なまか」を掲載

2004(平成16)年 4月 栗原 清美さん 緑綬褒章受章

### 交野市ボランティアグループ連絡会の歩み～30年を振り返って⑤

- 1995(平成7)年1月 阪神淡路大震災発生 → 被災地での炊き出しに参加 ※『ボランティアOSAKA』創刊号より

ボランティア元年

### 交野市ボランティアグループ連絡会の歩み～これから

- これからの活動にむけて...
- 仲間を増やそう!
- もっとボランティアを知ってもらおう!

情報発信していこう!!

これからも一緒に楽しんでいきましょう!!

## 式典を終えて 見えてきたもの

### 会長 馬場 巡

30周年記念式典を無事終えることができて、胸をなでおろしています。実行委員を中心として式典準備や段取りをし、成功裡におさまられたのは関係者皆様方のお陰と心より感謝いたします。

当初はどこに向かっていくのかもわからない状態でしたが、段取りを重ねるごとに形が見え出し、協力し合い物事を完成させる過程を見ることができたのは皆様にとっても、私にとっても大変いい経験になりました。

この経験や団結力を活かして、今後の連絡会の発展に係ってゆきたいと改めて思っています。ボランティアの高齢化は認めるものの、挑戦する気や目標があれば人はやれることを学ばせてもらいました。

今後もボランティアの皆様方と活動が共にできることを楽しみにしています。



実行委員・グループリーダー・役員みんなで記念撮影